

別記様式(第4条関係)

会議録

会議の名称	第9回加東市東条地域小中一貫校開校準備委員会
開催日時	平成30年11月19日(月) 19時30分から20時30分まで
開催場所	東条中学校 図書室
<p>議長の氏名 (委員長 石田和伸)</p> <p>出席及び欠席委員の氏名</p> <p>【出席委員】 27人</p> <p>岸本耕一委員 石田和伸委員 水野英樹委員 近藤光浩委員 岸本美智代委員 藤原尚弘委員 上中彰文委員 新谷裕亮委員 仮屋昌晴委員 片山侯史委員 岸本吉晴委員 山本信行委員 松本浩委員 土肥昭彦委員 小原亮太委員 衣川かおり委員 藤原逸也委員 藤原由英委員 鷹崎仁司委員 出井克典委員 三隅正登委員 岸本知哉委員 山本司委員 門林宏明委員 西田千枝子委員 平川真也委員 常峰玉緒委員</p> <p>【欠席委員】 7人</p> <p>小林和也委員 眞海秀成委員 玉川寛貴委員 久保眞弓委員 大野久子委員 岡敏久委員 中山庸平委員</p>	
<p>説明のため出席した者の職氏名</p> <p>【教育委員】</p> <p>田中寿一教育委員 藤本洋二教育委員</p>	
<p>出席した事務局職員の氏名及びその職名</p> <p>教育長 藤本謙造</p> <p>こども未来部長 広西英二</p> <p>こども未来部参事兼学校教育課長 藤原路寛</p> <p>こども未来部学校教育課副課長 後藤浩美</p> <p>こども未来部小中一貫教育推進室 室長 柴崎俊之</p> <p>同 係長 山本幸平</p> <p>同 係長 郡 龍仁</p>	
<p>議題、会議結果、会議の経過及び資料名</p> <p>【議題】</p> <p>(1) 東条地域小中一貫校の制服等について (2) 東条地域小中一貫校の愛称について</p> <p>【会議結果】</p> <p>(1)・(2) 資料に基づき、審議しました。</p>	

【会議の経過】

1 開会

2 報告・議事

(1) 東条地域小中一貫校の制服等について

(委員長)

まず、議事の(1)東条地域小中一貫校の制服等について、資料の説明を事務局からお願いします。

[事務局 資料説明]

(委員長)

それでは、東条地域小中一貫校の制服等について、専門委員会の学校運営委員会の代表から状況報告をしていただきたいと思います。

(委員)

11月15日の木曜日に第7回学校運営委員会を行い、10月31日に開催されました標準服等検討部会の協議内容を先ほどと同様、事務局からの報告を受け、アンケートに資料にあるとおり、制服等については7年生以上で、デザイン等は今後継続協議ということとし、また、体操服については7年生以上と6年生以下は異なる体操服で、7年生以上は東条中学校のデザインを継承し、6年生以下は新デザインで今後継続協議ということとしました。

なお、先ほど事務局からも話がありましたとおり、東条中学校の体操服は製版の関係上、今年、体操服の見直しを行いますので、来年の新1年生からの体操服が今後見直す小中一貫校の体操服になるということになっています。

学校運営委員会としましてはこれらの状況を確認し、継続協議をしていこうということになりました。学校運営委員会の協議内容は以上です。

(委員長)

ありがとうございました。

説明のありました制服等の経過報告に関して、何か御質問等がありましたらお願いしたいと思います。

いかがでしょうか。

学校運営委員会委員の説明等がありましたが、そのままで了解していただけますでしょうか。

[異議なし]

(委員長)

それでは、そのように、また継続審議という形で進めていきたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。制服等について今後も引き続き検討を進めていただきます。

(2) 東条地域小中一貫校の愛称について

(委員長)

続きまして、議事の(2)です。東条地域小中一貫校の愛称について、まず資料の説明を事務局からお願いいたします。

[事務局 資料説明]

(委員長)

東条地域の一貫校の愛称について、また同じように学校運営委員会の代表から協議していただきましたその状況報告をしていただきたいと思います。

(委員)

11月15日に第7回の学校運営委員会を開催し、小中一貫校の愛称について公募結果をもとに協議を行いました。そして、選定要領により選定しました候補が、前に貼り出していただいている5点になります。

まず、東条という名称を残すという皆さんの共通する思いから、東条の名称を入れていこうということになり、東条が入っており応募数の多かった「東条学園」を選びました。なお、同じく東条が入っており応募数も多かった「東条小中学校」については、愛称と正式名称の区別が伝わらずに応募された可能性もあると思われるため候補としていません。

次に、地理的にイメージできるもの、歴史、文化、特徴をあらわすものなどということで「東条コスモス学園」と「東条愛鯉学園」を選びました。東条コスモス学園のコスモスは旧東条町の花で、また、加東市の花であること、東条愛鯉学園は東条地域の特産である鯉のぼりの「鯉」が入っていること、そして、コスモスや鯉のぼりなどがイメージでき、デザインを取り込むこともできるのでよいということで選定をしています。

なお、コスモスについては片仮名、平仮名、漢字とそれぞれ受ける印象は異なることから全てを候補としています。

続いて、全国的には東条という地名がほかにもあることから、兵庫県の東条ということで、また、インターチェンジもあることから「ひょうご東条学園」を選びました。

最後に、「東条凌雲学園」については東条ゆかりの名称とは違った側面で、新しい東条地域の小中一貫校にふさわしいものということで選びました。学校運営委員会の協議内容は以上です。

(委員長)

説明のありました愛称に関して、5つの候補の中からこの開校準備委員会の協議において本日1つに選定したいと思いますのでよろしくお願いします。

(委員)

東条が全部ついているのですが、どうするかというのは非常に大きな問題ではないかと思っています。

学校は40年、50年先まで存続するわけです。40年、50年ずっと東条、滝野、社とって子どもを育てていくということが、今までの文化ということであれば確かに大事ということはあるのですが、将来を見越したときにどうなのかという気持ちがどこかにあります。

それで、今、正式な名称は一体どのようなイメージで教育委員会が認識されているのかということを知った上で、それも参考にしながら考えたほうがよいのではないかと思っています。正式名称を決めるということは、おそらく、あとの地域の学校の名称、正式名称にも影響を与えるわけですので、教育委員会のお考えを聞かせていただいた上で話をしたらどうかと思います。

(事務局)

正式名につきましては今日、皆さん方の意見も聞きながら最終的につけていきたいと思っています。

皆様方のいろいろな意見を聞きながら、この学校名を選定するというについては、それぞれのいろいろな思いが集結していく、おらが学校でありたいとい

う思いが一番でございます。

ただ、委員がおっしゃったように、ここが東条何とかになれば社、滝野になるのではないかとということも確かにあろうかと思いますが、それでも縛るつもりはありません。加東市で最初にでき上がる学校でございますので、皆様方の総意の中で決めていただくというか、思いを出していただくのが一番ではないかという思いです。

(教育委員)

先ほどの委員からの御意見のように、加東市合併の際の経過としては様々な意見は結構あったのですが、最終的には1つの加東市になろうという思いで町名は外したという経緯はそのとおりであります。

ただ、町名を外しても各施設の固有名詞で、東条、社、滝野という名前を合併以降も残しておりますが、その地域の特性のような名前はそのまま使ってもいいのではないかというような意味合いの協議があって、各町名は外したということだったと思います。

(委員長)

そのような思いが残っているということですが、それでよろしいでしょうか。

(委員)

それは、良い、悪いではなくて、そういうことだということによいと思います。

(委員長)

そういうことで、東条をつけていますが、こういう形で東条を残して愛称をつけていく。また、正式名称の場合は皆様からの意見を聞いて判断をしていきたいと事務局から言われましたが、それはそれとして、今日は愛称ということで皆様からの御意見をお聞きしたいと思います。この中からどれか1つというような形で、この開校準備委員会で1つ推薦する愛称を決めていただきたいと思いますので、よろしく願います。何か御意見ございましたらどうぞ。

(委員)

東条中学校、東条西、東条東小学校の3つの学校を母体として新しい学校ができ上がっていくというところで、かつ、親しみやすさ、わかりやすさというようなことが平仮名でたくさん書いてあります。

コスモスであるとか、それから愛鯉であるとか、そういうような特産物、文化を入れていくということも校名を選んでいく中にあり、こういったものが東条をあらわす1つ1つのパーツなのかなとは思いますが、やはり東条というのをあらわすのは東条でしかないのかなと思っています。そうすると子ども達にもわかりやすく、覚えやすく、親しみやすくなればよりシンプルなものが、票数としても結果としてあらわれてきているのかなという気がします。

(委員長)

やはり東条をつけて、シンプルな形という話が出ているというようなことですが、皆様方の御意見を聞かせていただきたいと思います。どうですか。

コスモスは今、市花になりましたので東条コスモスとつけたらどうかというような意見もありましたし、東条の名産というのもあります。それも東や西の片方しかないなどというようなところもありますし、どうでしょうね。なかなか難しいですね。

(委員)

市花ではありますが、コスモスが入るとするのはやはり一番、コスモスの印象がたぶんあるんですね。

(委員)

悩めば悩むほど、最終的に目についたのは東条学園なんです。

(委員)

東条学園が飛び抜けて応募が多いですね。子ども達が130人出していますから、わかりやすい、そういうものがよいと思います。

(委員)

東条コスモス学園になってくると、そのうちコスモス学園だけになっていくような気がしますね。

(委員)

正式名称が東条小中学校となるのだったら、東条学園という愛称は何か正式名称と同じようで、愛称とは何かという話になってしまうから、やはり本名がわからないと議論できない。愛称は何に使うのか。

(委員)

これがたぶん先に出ると思います。中学校とか小学校は、よく見たら下についていて、後から来ると思います。

(委員)

コスミックホールの正式名称は東条文化会館ですね。ふだん愛称としてコスミックホールという名前がありまして、さらに略称でコスミックという呼び方になっているので、愛称というのはそのようなものというイメージはあります。

ただ、前回そういったところも意見しましたが、帰って子どもに意見を聞くとシンプルに東条学園がよいという意見でした。

(委員)

以前、加東市立東条小中学校というようなことを何か言われていませんでしたか。

(事務局)

そうですね。あくまで参考としまして、凌風学園の例を言わせていただきました。正式名称は、凌風小中学校です。

それから補足のような話にもなりますが、例えば野球部、サッカー部のユニホームに校名などが入る場合があり、凌風学園であれば、凌風小中学校ですが、ユニホームは凌風学園という形で運用もされているというのは聞いております。

(委員)

東条の地場などの名称や花などを考えたときに、やはりコスモス、釣り針など出てきたのですが、コスモスという花のイメージが少し暗い。少しそういう印象があると、お花などをしている人から聞いたことがあります。少しそこがひっかかりますが、個人的には秋桜学園です。

(委員)

学校ということ考えたときに、地名か教育理念みたいなものというふうに思ってしまうんですね。植物ということになると、何か非常にその学校をあらわすものとしてはしんどい。好き嫌いがあるから、どっちかという地名か、私学などの場合は教育理念というのが大体、学校の名称ですよ。

(委員長)

やはり地名になるのかなという意見が出ています。地名に愛着を持つということで、一番シンプルな東条学園。

いかがですか。反対があれば今のうちですよ。

東条学園でよければ、拍手でお願いしたいと思います。

[拍手]

(委員長)

ありがとうございます。

それでは、愛称としまして「東条学園」ということで、委員会では決定をした

と思います。よろしいですね。

〔異議なし〕

(委員長)

それでは、そのように決めました。異議がないようですので、「東条学園」ということで最終決定をしていただきます。

それでは、協議が終了しましたので、ここで進行を事務局にお返しいたします。

(事務局)

それでは、最後に事務局から事務連絡と報告ということで少し説明をさせていただきます。

(3) 今後の予定スケジュールについて

〔事務局 資料説明〕

(4) 東条地域小中一貫校の学校種について

(事務局)

実は報告といたしますのは、市長と教育委員がいろいろな教育問題について協議、調整をする総合教育会議というのがありまして、ここで今回、この東条の小中一貫校をどのような形で運営していくのかというようなことについて協議、調整をさせていただきました。

教育委員の皆様方のほうからも意見をいただいたり、我々もいろいろな思いを持って言ってきましたが、まとまったことについて御報告申し上げますと、東条の小中一貫校は義務教育学校でスタートするというで思いとしては固まったと、方向性としては固まったということでございます。

これにつきましても、さらに協議を続けたいと思いますが、どういうことかといいますと、小学校、中学校ではなく、小中一緒にいるのだから1つの学校だということで東条学園という名前を入れてくれた子もおりましたが、小・中学校が1つの学校であるということでございます。

職員の構成ですが、違いは管理職で、校長は1人です。1つの学校ですから校長1人。ただ、その次に副校長、統括する副校長がおります。しかし、学校ですので前期課程、いわゆる小学校の6年間の教育課程をきちっとやっけていかないといけないということ、あるいは3年間の中学校の教育課程をきちっとやっけていかなければいけないということで、小学校の教頭先生、中学校の教頭先生がつくというふうな体制で小中一貫教育を推進していくことがよいのではないかというようなことになったということでございます。

また、ほかにもいろいろございますが、今後それに向けて新たな教科でありますふるさと学というようなものにつきましてもそれぞれ先生方に集まってもらってその副読本といったものを教材として今つくり上げていこうとしていますし、教科につきましても小・中の子ども達が途切れなく全ての教科について小学校の先生、中学校の先生は1つの目標を持って進んでいくというそういう学習、あるいは生活も含めて一貫した教育をとり行っていきたいというようなことを思っております。また、これからも制服のこと、あるいはPTAのこと、もちろん通学のこともありますし、それから小中一貫に関わっては懇話会というようなものも含めて、地域の中での学校という、おらが学校というふうに申し上げましたが、皆さんの力によって盛り上げていただくような学校ということでスタートしてま

いりたいというふうに思っておりますのでよろしくお願ひ申し上げて報告とさせていただきます。本当にどうもありがとうございました。

3 閉 会

【資料名】

- 資料1 東条地域小中一貫校の制服等に関するアンケート結果
- 資料2 東条地域小中一貫校愛称（校名）公募結果概要
- 資料3 スケジュール（案）

平成31年1月18日